

公表:令和3年3月1日

事業所名 こども支援ルーム宮の沢

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		グループに分けてできるだけ少人数で療育できるように対応しております。	限られたスペースでどのようなアプローチが良いか常に意識して取り組むように進めております。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			十分な配置にて対応しております。	時間帯やお子さんの状態により個別対応が必要になるなど一時的に対応が難しくなることがあります。職員の知識や技術の向上により、より質の高い支援ができることで、改善していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			運動(感覚統合)と学習と遊び(SST)というように場所ごとで活動を実施しております。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日清掃しており、常に清潔を意識しております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月の会議にてPDCAサイクルにて、業務改善の検証を実施してます。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果を基に、常に業務改善に取り組んでおります。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者様に対して、今後は本結果をHUGでお知らせし、今まで通りホームページにて結果を公表しております。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価の研究に協力し実施しました。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			常に研修の機会を提供しております。必要な研修については、職員に順番に参加していただいております。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			フェイスシート、継続用フェイスシート、感覚プロフィールなど標準化されたアセスメントを使って実施。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			同上。お子さんによりさらに必要な検査については追加で実施しております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			モニタリング・カンファレンス等でお子さんの発達支援、家族支援、地域支援を実施しております。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			確実に実施しております。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者が立案し、その後カンファレンスにてチームで実施しております。	カンファレンスで具体的に話し合えるように、お子さんの改善点に対する視点を明確にしていきます。

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			モニタリング・カンファレンス等で常に状況に応じた内容を実施。具体的な工夫ができるように、ビデオを使った事業所内研修会の開催。	事業所内研修の機会を増やして対応して行きます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			グループの構成を検討するなど、できるだけ必要な活動ができるように取り組んでいます。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			スタッフの動向表を作成し役割分担について確認しております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎回終了後に反省会を実施しております。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			SOAPに基づいて記録しております。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			確実に実施しております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			もっともふさわしい者が参加しております。	今後、職員の質の向上を含め必要に応じて他の職員も参加していきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			外部機関との窓口の職員を決めて実施しております。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			今年度は対象児童がおりませんでした。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			今年度は対象児童がおりませんでした。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要なお子さんについては、文書及び支援者会議などを実施しております。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			同上。就学児に関しては、文書にて小学校に情報共有しております。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			センターの研修会には積極的に参加しております。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	専門的な療育的支援を実施しており、必要性については難しく、逆にお子さんが通っている保育所に職員が伺って、そこでの他児とのやりとりにより直接支援するような連携支援が重要と考えます。保育所等訪問支援での実施を進めていきます。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加するようにしております。	
		⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			HUGを使って利用の都度、様子をお伝えしております。また、必要に応じて面談をお願いしています。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			当事業所でも、個別にペアレント・トレーニングを実施しております。また、必要に応じて、ペアトレが出来るところを紹介しております。	
	㉒	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			すべてにおいてしっかり説明しております。	
	㉓	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			面談・文書等を用いて実施しております。	

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的ではないが、必要に応じて常に実施しております。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			昨年はコロナの影響にて開催ができませんでしたが、今年度は、Zoomにて実施したいと思います。	土曜日の午後と火曜日の午前の年2回の開催も検討します。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			常に迅速かつ適切に対応しております。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		これまでは、会報などは作成していませんでしたが、その都度、連絡事項の案内を配布しました。	今後は、HUGにて、行事の様子などを報告していきたいと思えます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			送迎時や送迎車などにも特に注意しております。	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			カンファレンスなどの情報に基づき配慮しております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	当事業所は、専門的な療育が中心であり、行事等はほとんど実施しておりませんが、地域住民の招待なども実施しておりません。今後も引き続き、個々に合わせた支援を実施していきます。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			利用契約時の重要事項の説明の際に、マニュアルについても説明しております。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回義務づけられており、訓練を実施した際は、HUGにてその都度報告していきます。大地震などのときの避難場所を重要事項欄に記載しております。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			利用する前に事前に保護者から情報をお聞きして確認しています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			利用開始前に保護者からの聞き取りによって対応しています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集を作成し、その都度改善策や対応について会議で確認しております。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の研修会を毎年4月に実施	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			現在、身体拘束の児童はおりません。	必要なお子さんについては、実施していきます。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。